

放課後子ども教室だよ

福田・福沢たのしい教室訪問

子ども教室充実のために

川俣町の放課後子ども教室は、放課後の子どもたちの安心・安全な居場所づくりのため、火曜日から金曜日まで全学年を対象に実施し、放課後児童クラブの役割も兼ねています。ほぼ毎日の活動ですので、コーディネーターが子どもたちを楽しませるように工夫をしています。

福田たのしい教室

川俣町（10月13日）

福田たのしい教室は、福田小学校の図工室を利用して実施しており、全校児童の8割近くが登録しています。小学校を利用して活動しているため、校庭や体育館を使ってのびのびと体を動かすことができます。通常の活動では教室に来るとすぐに宿題に取りかかり、終わった順から自由遊びになります。季節毎に特別な内容が用意されており、今年は乗馬やスイカ割りを行ったそうです。小学校での活動は5時までのため、その後6時までは隣接する福田公民館で活動し、迎えを待ちます。



訪問をした日は学習発表会に向けた準備の都合で、はじめから公民館で活動していました。活動するスペースに余裕があり、学習と遊びの場所が分けられているので、静かな環境の中、落ち着いて学習に取り組むことができました。スタッフの中に、地元神社の禰宜の方がおり、今後も地元の人材を生かした運営および新たなプログラムの開発が期待されます。

福沢たのしい教室

川俣町（10月13日）

福沢たのしい教室は、羽山の森美術館の一室を利用して実施しています。美術館は旧福沢小学校の施設を利用しているので、体育館や運動場を使って遊ぶことができます。活動は宿題と自由遊びが基本ですが、季節毎に特別な内容が用意され、七夕やお月見なども行っています。またスタッフの方が多芸で、子どもたちにゴルフやバドミントン、紙粘土人形作りを教えることもあり、体験的な活動が重視されています。



訪問をした日は、近くの公民館で行われる文化祭に出品するための作品作りを行っていました。公民館の事業に子どもたちが参加するなど、互いに連携を図りながら活動しているそうです。

また教室には個人毎に道具箱が用意されていました（右図参照）。この道具箱はたのしい教室を卒業するまで使います。折り紙やクレヨンなど個人の物は道具箱に入れ、整理整頓を常に心がけています。

